

報道関係者 各位

令和 4 年 9 月 7 日（水）

【照会先】

雇用環境・均等局総務課 労働紛争処理業務室

室 長 清野 晃平

室長補佐 米村 祐規

（代表電話）03(5253)1111(内線7738)

（直通電話）03(3502)6679

**「令和 3 年度使用者による障害者虐待の状況等」の結果を公表します**

**～通報・届出、虐待が認められた事業所数は微減、障害者数は微増、  
認められた虐待種別では「経済的虐待」が引き続き最多～**

厚生労働省は、このたび、「令和 3 年度使用者による障害者虐待の状況等」を取りまとめましたので、公表します。

都道府県労働局では、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」（以下「障害者虐待防止法」という。）に基づき、都道府県などの地方公共団体と連携し、障害者※1を雇用する事業主や職場の上司など、いわゆる「使用者」による障害者への虐待の防止や、虐待が行われた場合の関係法令に基づく是正指導などに取り組んでいます。

厚生労働省では、今回の取りまとめ結果を受けて、引き続き、地方公共団体との緊密な連携を図りながら、使用者による障害者虐待の防止のために取り組んでいきます。

**【ポイント】**

- 1 通報・届出のあった事業所数※2は、前年度と比べ3.7%減少し、1,230事業所。  
通報・届出の対象となった障害者数は、前年度と比べ1.6%増加し、1,431人。**

[参照：別添 1 P 3 1-(1)、(2)]

- 2 虐待が認められた事業所数※2は、前年度と比べ2.2%減少し、392事業所。  
虐待が認められた障害者数は、前年度と比べ0.8%増加し、502人。**

[参照：別添 1 P 6 2-(1)、(2)]

- 3 認められた虐待の種別※3では、経済的虐待が420人（77.6%）と最も多く、  
次いで心理的虐待が61人（11.3%）、身体的虐待が32人（5.9%）。**

[参照：別添 1 P 7 2-(3)]

※1 障害者とは、「身体障害、知的障害、精神障害（発達障害含む）その他心身の機能の障害（以下「障害」と総称する。）がある者であって、障害および社会的障壁により継続的に日常生活または社会生活に相当な制限を受ける状態にあるもの」（障害者基本法第 2 条第 1 号）としており、障害者手帳を取得していない場合も含まれる。

※2 事業所数は、通報・届出の時期、内容が異なる場合には、重複計上している。

※3 ひとりの被虐待者に複数の虐待が認められた場合は、重複計上している。  
虐待の種別については、P 2 「虐待の定義」参照。

**【別添資料】**

別添 1 令和 3 年度における使用者による障害者虐待の状況（P 3～12）

別添 2 令和 3 年度における使用者による障害者虐待の事例（P 13～15）

参考 1 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律の概要（P 16）

参考 2 使用者による障害者虐待が行われた場合などの対応（P 17）

## 【取りまとめの概要】

「使用者による障害者虐待の状況等」は、障害者虐待防止法第28条「厚生労働大臣は、毎年度、使用者による障害者虐待の状況、使用者による障害者虐待があった場合に採った措置その他厚生労働省令で定める事項を公表するものとする。」に基づき、都道府県労働局（以下「労働局」という。）が把握した使用者による障害者虐待の状況等を取りまとめたものです。

### 1 取りまとめ期間

通報・届出：令和3年4月1日から令和4年3月31日までに通報・届出があったもの  
対応結果：令和3年4月1日から令和4年3月31日までに対応が完了したもの

### 2 取りまとめ方法

#### 都道府県からの報告

障害者虐待防止法第24条に基づき、都道府県から労働局に報告があったもの。

#### 労働局などへの相談

直接、労働局、労働基準監督署または公共職業安定所に、被虐待者、家族、同僚などから、使用者による障害者虐待に該当するおそれがある旨の情報提供や相談があったもの。

#### その他労働局などの発見

上記以外の場合で、労働基準監督署による臨検監督や公共職業安定所による事業所訪問などにおいて、使用者による障害者虐待に該当するおそれのある事例を把握したもの。

### 3 人数・事業所数・件数の数え方

- ・ ひとりの被虐待者に複数の障害（身体障害、知的障害、精神障害、発達障害等）がある場合や、複数の虐待（身体的虐待、性的虐待、心理的虐待、放置等による虐待、経済的虐待）が認められた場合は、重複計上しています。
- ・ 投書による通報や匿名での通報など、通報対象となった障害者の障害種別を特定することが困難な場合は、障害者の人数のみを計上しています。
- ・ 通報・届出のあった事業所と虐待が認められた事業所の数は、通報・届出の時期、内容が異なる場合には、重複計上しています。
- ・ ひとりの被虐待者に関して労働局が複数の措置を講じた場合は、措置ごとに件数を重複計上しています。

#### 【虐待の定義】（障害者虐待防止法第2条第8項第1号から第5号）

##### 身体的虐待

障害者の身体に外傷が生じ、若しくは生じるおそれのある暴行を加え、または正当な理由なく障害者の身体を拘束すること。

##### 性的虐待

障害者にわいせつな行為をすることまたは障害者をしてわいせつな行為をさせること。

##### 心理的虐待

障害者に対する著しい暴言、著しく拒絶的な対応または不当な差別的言動その他の障害者に著しい心理的外傷を与える言動を行うこと。

##### 放置等による虐待

障害者を衰弱させるような著しい減食又は長時間の放置、当該事業所に使用される他の労働者による上記3つの虐待行為と同様の行為の放置その他これらに準ずる行為を行うこと。

##### 経済的虐待

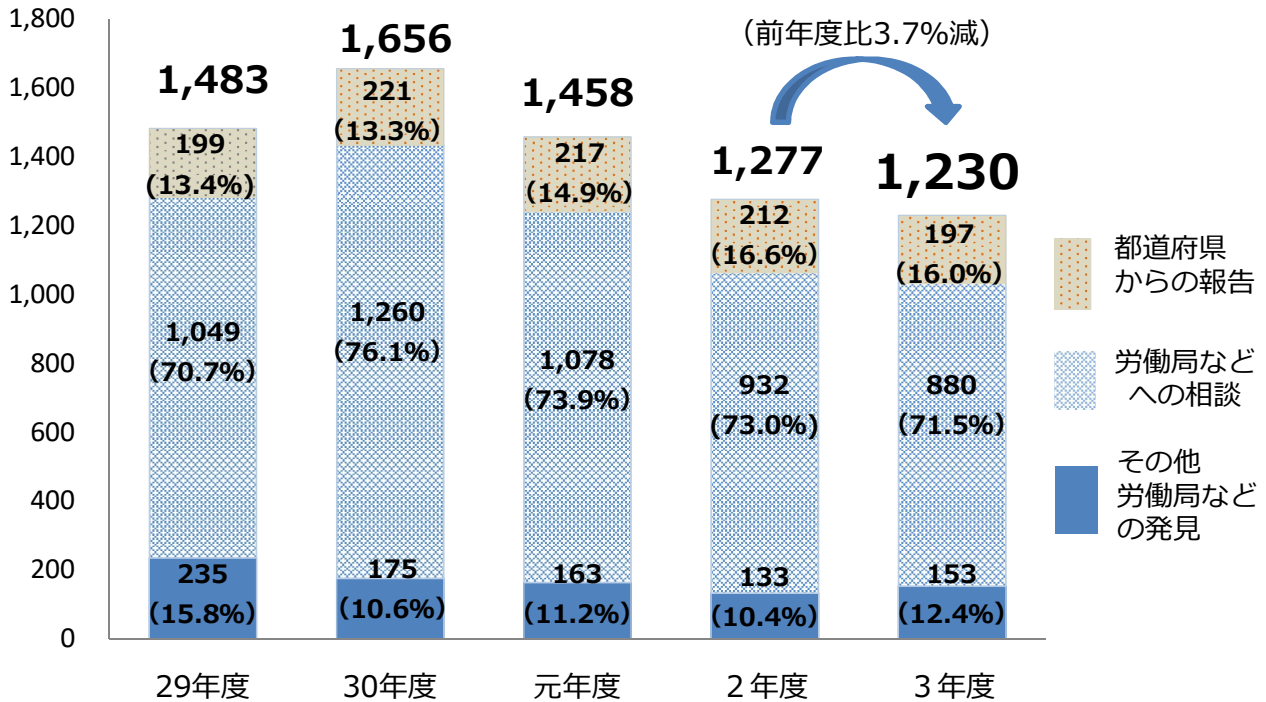
障害者の財産を不当に処分することその他障害者から不当に財産上の利益を得ること。

# 令和3年度における使用者による障害者虐待の状況

## 1 通報・届出

### (1) 通報・届出のあった事業所数（把握の端緒別）

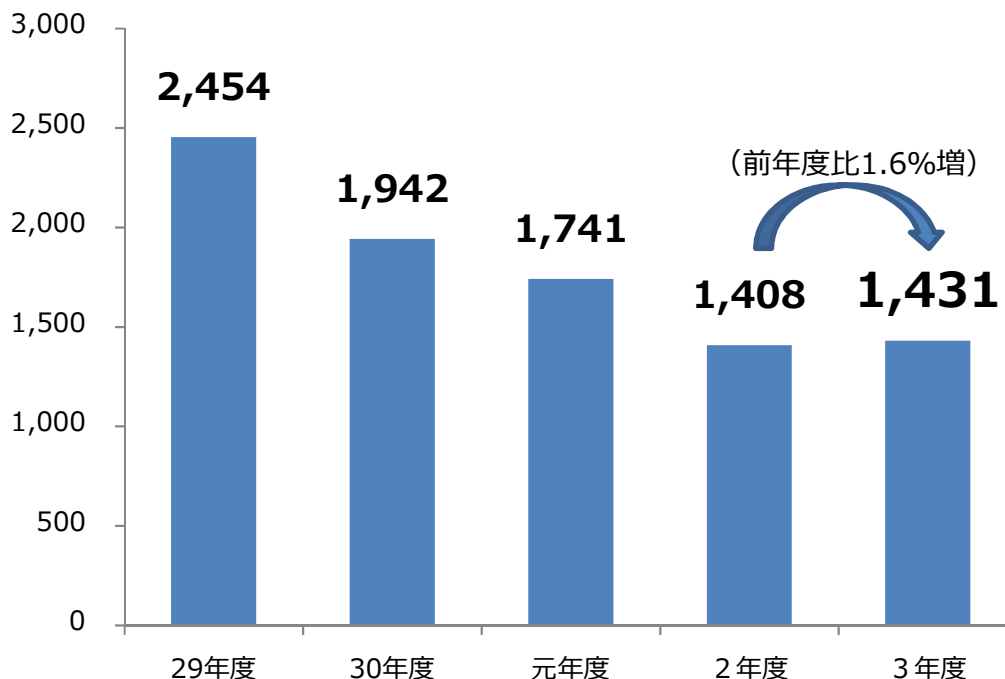
（単位：事業所）



■ 四捨五入による端数処理の関係で合計が100%にならないことがある。

### (2) 通報・届出の対象となった障害者数

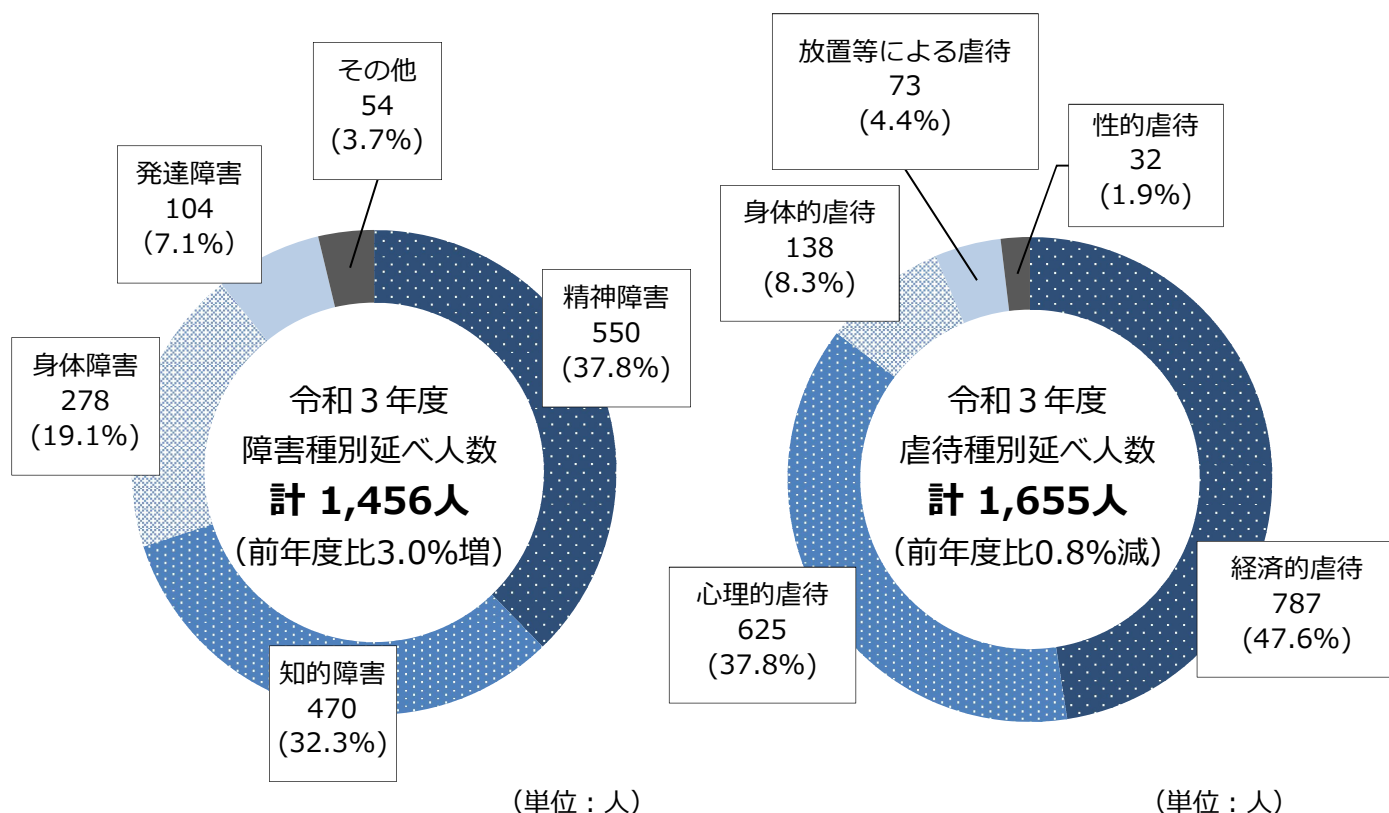
（単位：人）



### (3) 通報・届出の対象となった障害者数（障害種別・虐待種別）

#### ①障害種別

#### ②虐待種別



- 障害種別や虐待種別については、重複しているものがある。
- 四捨五入による端数処理の関係で合計が100%にならないことがある。
- 通報・届出の際に明らかなもののみ計上している。

#### 【参考】第1表 虐待種別・障害種別障害者数（通報・届出の対象となった障害者）

虐待種別	障害種別				
	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	その他
身体的虐待	29	58	31	12	14
性的虐待	3	13	13	0	2
心理的虐待	127	157	266	64	30
放置等による虐待	18	21	25	9	2
経済的虐待	159	282	304	39	18

(単位：人)

- 障害種別や虐待種別については、重複しているものがある。
- 四捨五入による端数処理の関係で合計が100%にならないことがある。
- 通報・届出の際に明らかなもののみ計上している。

【参考】第2表 年度別・障害種別障害者数（通報・届出の対象となった障害者）

	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	その他	合 計
29年度	602	814	836	118	77	2,447
	24.6%	33.3%	34.2%	4.8%	3.1%	100%
30年度	463	632	645	148	47	1,935
	23.9%	32.7%	33.3%	7.6%	2.4%	100%
元年度	417	575	549	130	50	1,721
	24.2%	33.4%	31.9%	7.6%	2.9%	100%
2年度	361	409	498	123	22	1,413
	25.5%	28.9%	35.2%	8.7%	1.6%	100%
3年度	278	470	550	104	54	1,456
	19.1%	32.3%	37.8%	7.1%	3.7%	100%

（単位：人）

- 障害種別については、重複しているものがある。
- 四捨五入による端数処理の関係で合計が100%にならないことがある。
- 通報・届出の際に明らかなもののみ計上している。

【参考】第3表 年度別・虐待種別障害者数（通報・届出の対象となった障害者）

	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	放置等による虐待	経済的虐待	合 計
29年度	286	29	736	126	1,711	2,888
	9.9%	1.0%	25.5%	4.4%	59.2%	100%
30年度	187	58	827	100	1,116	2,288
	8.2%	2.5%	36.1%	4.4%	48.8%	100%
元年度	209	37	713	81	951	1,991
	10.5%	1.9%	35.8%	4.1%	47.8%	100%
2年度	174	40	635	87	733	1,669
	10.4%	2.4%	38.0%	5.2%	43.9%	100%
3年度	138	32	625	73	787	1,655
	8.3%	1.9%	37.8%	4.4%	47.6%	100%

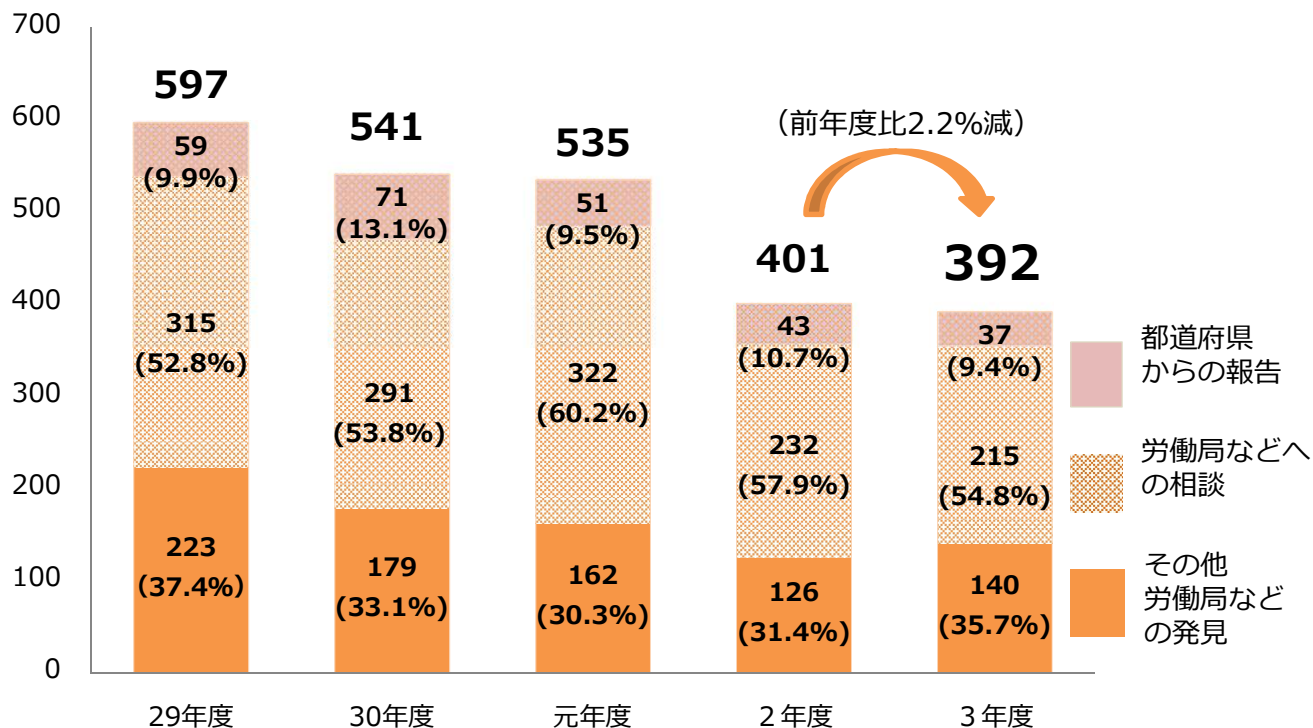
（単位：人）

- 虐待種別については、重複しているものがある。
- 四捨五入による端数処理の関係で合計が100%にならないことがある。
- 通報・届出の際に明らかなもののみ計上している。

## 2 労働局の対応結果

### (1) 虐待が認められた事業所数（把握の端緒別）

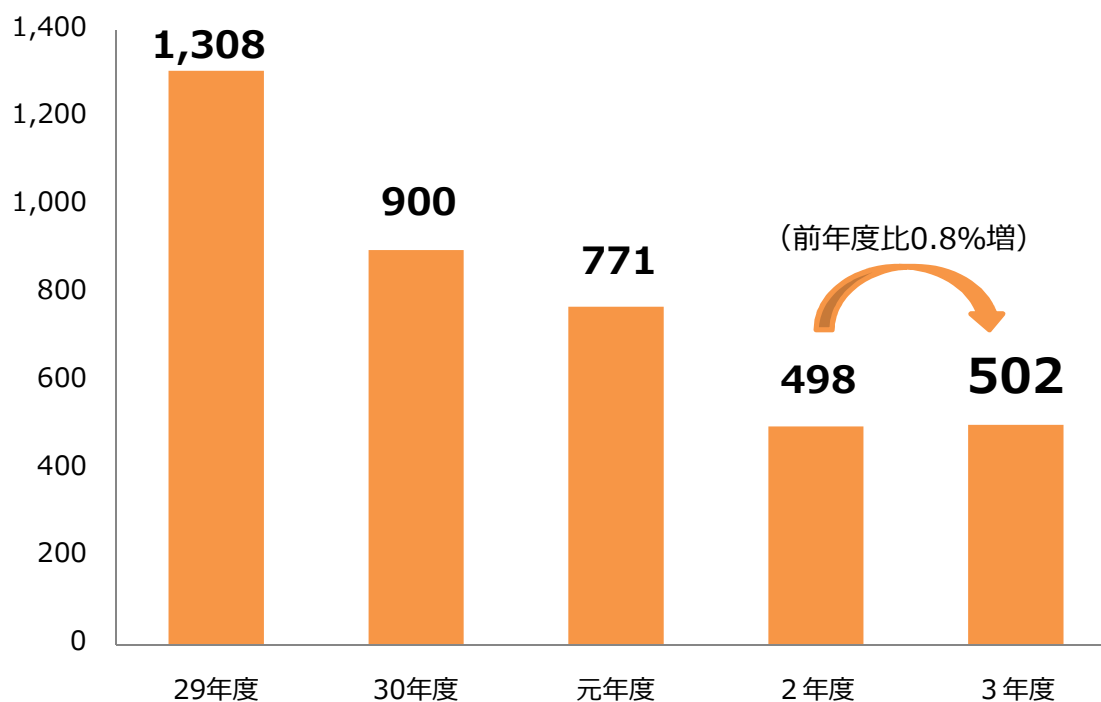
(単位：事業所)



■ 四捨五入による端数処理の関係で合計が100%にならないことがある。

### (2) 虐待が認められた障害者数

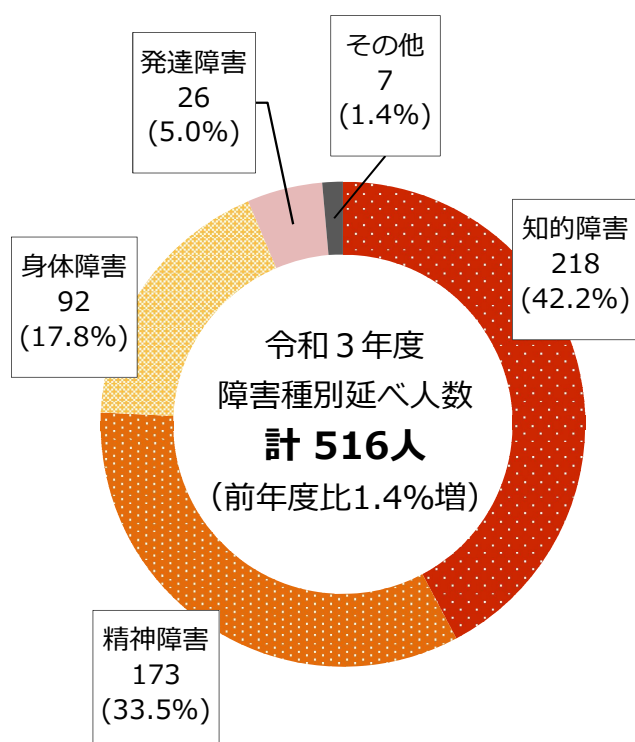
(単位：人)





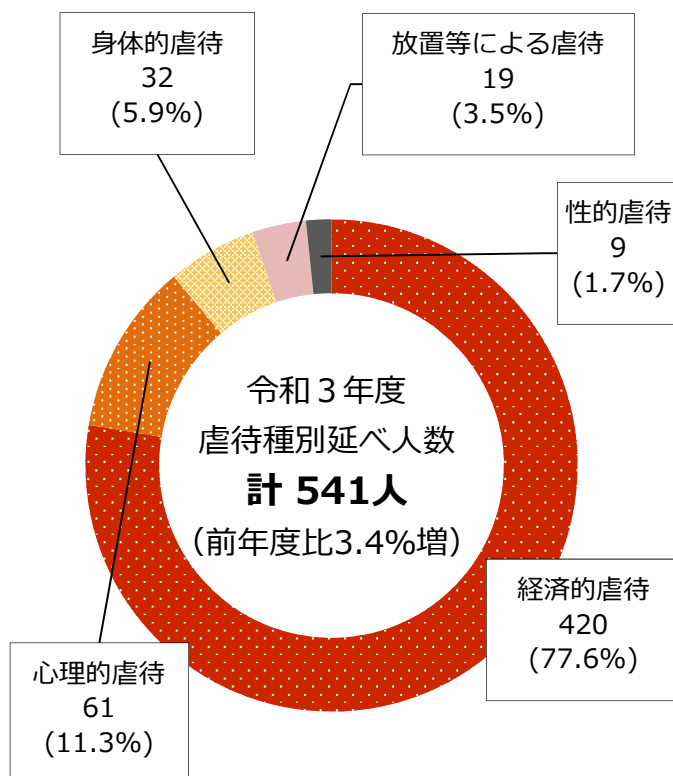
### (3) 虐待が認められた障害者数（障害種別・虐待種別）

#### ①障害種別



(単位：人)

#### ②虐待種別



(単位：人)

- 障害種別や虐待種別については、重複しているものがある。
- 四捨五入による端数処理の関係で合計が100%にならないことがある。

#### 【参考】第4表 虐待種別・障害種別障害者数（虐待が認められた障害者）

虐待種別	障害種別				
	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	その他
身体的虐待	7	17	4	2	0
性的虐待	0	3	5	1	0
心理的虐待	14	23	24	5	1
放置等による虐待	2	14	4	2	0
経済的虐待	77	174	153	21	6

(単位：人)

- 障害種別や虐待種別については、重複しているものがある。
- 四捨五入による端数処理の関係で合計が100%にならないことがある。

【参考】第5表 年度別・障害種別障害者数（虐待が認められた障害者）

	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	その他	合 計
29年度	272	489	452	36	71	1,320
	20.6%	37.0%	34.2%	2.7%	5.4%	100%
30年度	156	400	244	35	9	844
	18.5%	47.4%	28.9%	4.1%	1.1%	100%
元年度	157	351	213	32	11	764
	20.5%	45.9%	27.9%	4.2%	1.4%	100%
2年度	119	215	142	26	7	509
	23.4%	42.2%	27.9%	5.1%	1.4%	100%
3年度	92	218	173	26	7	516
	17.8%	42.2%	33.5%	5.0%	1.4%	100%

（単位：人）

- 障害種別については、重複しているものがある。
- 四捨五入による端数処理の関係で合計が100%にならないことがある。

【参考】第6表 年度別・虐待種別障害者数（虐待が認められた障害者）

	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	放置等による虐待	経済的虐待	合 計
29年度	80	7	116	27	1,162	1,392
	5.7%	0.5%	8.3%	1.9%	83.5%	100%
30年度	42	9	92	19	791	953
	4.4%	0.9%	9.7%	2.0%	83.0%	100%
元年度	30	10	64	19	686	809
	3.7%	1.2%	7.9%	2.3%	84.8%	100%
2年度	24	10	56	14	419	523
	4.6%	1.9%	10.7%	2.7%	80.1%	100%
3年度	32	9	61	19	420	541
	5.9%	1.7%	11.3%	3.5%	77.6%	100%

（単位：人）

- 虐待種別については、重複しているものがある。
- 四捨五入による端数処理の関係で合計が100%にならないことがある。